

平成25年度大館圏域産業祭に参加して

会場:大館樹海ドーム

開催日:平成25年10月26日(土)~27日(日)

調理「焼きだまこの試食」



●2日間ずっと立ちっぱなしで大変でしたが、小さい子から大人までたくさんの人に食べてもらえて嬉しかったです。地域の人とのコミュニケーションもとることが出来たので、自分の将来に深く関わってくるのではないかと思います。

●当日までにだまこを3000個以上つくったり、新しい味、トッピングなど様々なことを準備しました。だまこを作る作業は、みんなだんだん無表情になるくらい大変なものでしたが、産業祭で全て試食していただいた時は、すごく嬉しかったです。同時に頑張ってたかったと思いました。

- 準備に苦労した分、終わってからの達成感が大きかったです。
- 3年生として2年生に仕事を教え、しっかりリードできたと思います。
- お客さんから笑顔で「おいしかった。ありがとう。」と言ってもらえて良かったです。疲れていても、もっと頑張ろうという気持ちになりました。
- 産業祭までの準備や当日の仕事を通して、あきらめないうり組む姿勢や誰かのために作業する大切さを学びました。もし私が立派な栄養士になり献立作成などをしていくようになったら、焼きだまこも取り入れたいです。産業祭を通してもう一つの夢ができたような気がします。



- 大変なことが多かったけれども、その反面、嬉しかったことや楽しかったことも多かったのでいい経験ができたと思います。この経験を社会に出たときも生かしていきたいと自分なりに考えました。残り少ない高校生活を、周りにいてくれる人に感謝しつつ過ごしていきたいと思いました。

福祉「松ぼっくりのカードスタンド」

- 小さい子どもたちやそのお父さん、お母さん、年配の方など様々な年代の人がいっぱい来て、喜んで帰ってくれたのでとても嬉しかったです。人に物事を教えることに慣れていなかったために苦労もしましたが、この経験をこれからの生活に生かしていきたいと思います。



- 準備をしているときは、教えるのは簡単なことだと思っていましたが実際教えてみると、自分でわかっていてもうまく伝わらず予想以上に苦労しました。想像以上に人が集まっていたので、このような大きな行事に参加できてよかったと思います。

●あまり子どもの相手に慣れていないことと、人見知りな性格のため、最初はおどおどしていましたが、多くの人と交流することで、人の温かさに触れることができました。この気持ちは介護の現場でも、社会に出て、人と接するうえでとても大切になってくることだと思います。

●子どもたちの創造力を否定しないようにと気をつけながら接する事をこころがけました。

●1日目はお年寄りが多く、2日目は子どもが多く来ました。松ぼっくりの消毒の仕方などを質問してくる人もいました。

●学校前に落ちている松ぼっくりをたくさん拾ってきて飾り付けができるようにお湯に入れ、実を広げたりしました。その後、質のよいのと悪いのに分けました。

●松ぼっくりを煮た後に乾燥させると、かさが開いて、綺麗な形になることを初めて知ることができました。

●一度に二人に教える時もあり大変だったが、完成して嬉しそうにしている子どもの姿をみたり、感謝の言葉をかけられると、僕も嬉しかった。人のために何かをする大変さも学ぶことができたと思います。



●産業祭は、様々な年齢層の方々が集まって地域の交流を深める事が出来る行事です。後輩たちには、この点を理解したうえで、産業祭という行事を自分の成長のために使ってほしいです。

●思った以上にたくさんのお年寄りや子どもが来てくれました。お年寄りとは福祉コースで学んだことを活かしてコミュニケーションをとれたと思います。私は小さい子どもが好きなので、たくさん会話することが出来て楽しかったです。「ありがとう」とたくさん言われる事でやりがいを感じました。社会人になって働いても同じことがいえると思います。

●作っている最中に子どもとお年寄りの交流も見ることができて、もの作りは世代を超えて交流するきっかけにもなるのではないかと思います。地域の人たちに大館高校生活科学科福祉コースを詳しく知ってもらうことができて本当良かったと思います。



被服「ファッションショー」

●この2日間のショーをするにあたって、製作が間に合わず遅くまで残って頑張りました。思い通りにいかなくて何度もやり直しましたが、最終的には自分の納得する作品ができましたし、それを着てファッションショーで披露することができてとても満足しています。

●リハーサルで着替えが間に合わなかったこともあって、本番では音楽を気にしながら、とても忙しかったですが、その分とても充実していて、良い思い出になりました。

●緊張や焦りもありましたが、自分の作ったものをうまくみんなにアピールできたと思います。みんなと一つになってショーを大成功させることができました。

●自分の作った服を1年生に着てもらったのですが、その感覚が新鮮で良い経験になりました。多くの方々に声をかけてもらい、頑張ってやった甲斐があったなと思えました。ステージの上から見た光景と最後の感動は絶対に忘れないです。





●ショー当日の本番を迎えるまでとてもハードな日々を過ごしていました。最後の最後まで、時間がかかって大変でしたが、苦勞より楽しいと思える充実感の方が大きかったと思っています。協力していただいた方々に感謝したいです。本当にありがとうございました。



●一から自分のサイズに合う服を作るのは、なかなか思い通りに行かず難しかったですが、自分らしい作品になったと思います。ショーでは、みんなで頑張ろうと声を掛け合って、笑顔で一生懸命ショーを盛り上げることを頑張りました。被服選択のみんなと一緒にステージに立つことが出来て達成感と感動を味わうことができました。努力し続けること、諦めないこと、助け合うことなどの今回の経験をこれからの生活に行かしたいとします。





●ファッションショーの1日目は、意外に人が多くてビックリしましたが、お辞儀するたびに拍手してくれたり、たくさんの笑顔が見れたのでよかったです。最後には、担当の先生に感謝を込めて花束を渡すことができました。ショーを大成功に収められ、被服選択のみんなのおかげでいい思い出ができました。

